

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「ふるさと紀行 2020」などの委託者報酬を震災復興の支援に

～「東日本の子どもたちと歩もうプロジェクト」を始動～

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興 AM)は、東日本大震災の復興に向け本業を通じて継続的に支援を行なうことが社会貢献のうえで重要と考え、日興 AM が運用する投資信託「ふるさと紀行 2020」(正式名称:日本公共債ファンド 2020)から日興 AM が受けとる委託者報酬のすべてと、一部の日本株投信の委託者報酬の 50%に相当する額を支援金とすることを決定しました。日興 AM はこの支援金で、被災されたみなさまのお役に立てるような復興応援プロジェクト「東日本の子どもたちと歩もうプロジェクト」を開始します。日興 AM はこのたびの震災の被害に対する支援として、弊社従業員による「日興 AM 従業員チャリティプログラム」から義援金約 2,500 万円の寄付を行ないましたが、当プロジェクトはこれに続く復興応援活動となります。

ファンド	対象	期間
ふるさと紀行 2020	委託者報酬の 100%	2012 年 3 月まで
一部の日本株投信	委託者報酬の 50%	2012 年 3 月まで

※対象ファンドの現在の純資産総額をベースにした場合、支援金合計は 2,000 万円程度となる見込みです。

日興 AM はかねてより、従業員が積極的にボランティア活動を行なえるよう、「ボランティア休暇」を整備し、通常の有給休暇とは別に年間 2 日間の特別有給休暇を取得できる制度を導入しています。当社の従業員の自発的なボランティア活動への参加と、当社の本業であるファンドを通じた支援を合わせて、会社全体が一丸となって復興支援に役立つ取組みを進めてまいります。

「東日本の子どもたちと歩もうプロジェクト」では、教育や医療・保健等の専門家からの助言や、子ども向け支援に実績のある NPO・NGO のご協力を得て、被災された子どもたちを応援・サポートする活動を展開します。長期に及ぶ可能性が大きい復興期間のなかで、目に見える形で子どもたちを応援し、その時々に必要なサポートを実施していきます。現在検討中の活動内容は以下の通りです。

「東日本の子どもたちと歩もうプロジェクト」

移動児童館(車両)

当社と業務提携を行なっている「ダイヤブロック」を製造・販売する株式会社河田のご協力を得て、ブロックをはじめとする遊具に加え、えほん、紙芝居などを搭載した車両「移動児童館」にて東北・関東の地域を訪問し、被災した子どもたちに利用していただくことを計画しています。日興 AM スタッフは現地に赴いて、子ども向けの各種ボランティア活動に従事します。

子どもたちによる参加型イベントの開催

広く子どもたちの参加を募り、将来の夢やさまざまな経験から感じたこと・学んだことを共有することを目的としたイベント(仮称:「子どもサミット in Asia」)を計画中です。今回被災した子どもたちだけでなく、アジア各地の子どもたちにご参加いただくことで、日本とアジアの子どもたちがつながり、互いに支えあうきっかけとなるイベントとする予定です。

こうした取組みがわずかでも被災されたみなさまのお力になれば幸いです。被災地の一日も早い復興と、現在も厳しい環境のもとで日々を過ごされているみなさまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

以上

■リスク情報

- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用>

お申込手数料	上限4.2%(税抜4.0%)
換金(解約)手数料	上限1.05%(税抜1.0%)
信託財産留保額	上限1.0%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	上限2.9975%(税抜2.95%) 一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが設定・運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(2011年4月14日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが設定・運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。投資信託をお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010 年秋からは自社を「投信製作所」と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ*の海外ネットワークは、ロンドン、ニューヨーク、シンガポール、シドニー、オークランドに広がり、運用資産残高は約 12.8 兆円(2011 年 3 月末現在)**に上ります。

*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。